

番号：151154

国名：アフガニスタン

担当：アフガニスタン事務所

案件名：カブール市道路建設管理能力強化プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号
- (3) 業務の種類：調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2016年2月中旬から2016年4月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.8M/M、現地 0.23M/M、合計 1.03M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
10日	7日	6日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：2016年1月27日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(<http://www.jica.go.jp/announce/information/20150618.html>))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	8点
②業務実施上のバックアップ体制等	2点
  - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	アフガニスタン／全途上国
語学の種類	英語

## 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

アフガニスタン・イスラム共和国（以下、アフガニスタン）の都市は、3.9%の人口増加率であり、周辺アジア諸国の平均の倍という急激なペースで都市化が進行している。特に、首都カブール市では、1999年に約200万人であった人口が、現在では推計で約500万人とも言われており、今後もこの傾向は続き2025年には650万人に達するという予測もある。人口増加に伴い、自動車登録台数も2012年～2013年の1,762,357台から2013年～2014年には1,834,315台と年4%の勢いで増加しており、交通渋滞も悪化している。タリバン政権崩壊後、日本を始めとするドナーの支援により市内道路はおよそ300km整備されたが、メンテナンス不足による老朽化や人口増加に伴うさらなる道路整備の需要が高まっており、道路整備状況は十分とは言えず、円滑な都市交通を構築する上で大きな弊害となっている。また、道路の維持管理についてもカブール市には重要な役割が求められているが、長期にわたる不安定な治安情勢や市の行政能力不足から十分な成果が得られていない状況にある。

これらの課題へ対応するため、JICAは2010年5月から2015年5月にかけて「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト」を実施し、その一つのサブプロジェクトとして「既存カブール市道路整備サブプロジェクト」を実施した。サブプロジェクトでは、パイロット事業により約27kmの道路を整備することを通じて、11名の市職員に対して道路設計、施工監理、調達等の研修を実施し、さらにそれらの職員が同僚職員90名に対し研修内容の水平展開を実施した。また、維持管理については、維持管理部門の職員18名に対する実習研修を実施し、110名の同僚職員へ水平展開の研修を通じて基礎的な技術レベルが習得した。その結果、カブール市役所に道路維持管理課が新たに設立され、予算や人員も拡充されつつある。一方で、これまでの研修の成果は、基礎的レベルに留まっているため、今後カブール市役所が中心となって、事業を進めるためには、国際水準に沿った道路建設事業実施体制の強化や、計画的に道路維持管理を実施していくための維持管理計画、予算計画、維持管理体制の確立、人材育成能力の強化等について、引き続き専門家による実践的な支援が求められている。なお、世銀は都市交通分野でKabul Urban Transport Efficiency Improvement Project (KUTEI)を2014年から2019年までの期間で実施中であり、主に道路の改修事業に必要な詳細設計と事業実施が中心的な活動となっており、道路工事品質の向上に向けた本件との連携も期待される。

本件は、上記を背景として、カブール市の道路建設や維持管理に係る中長期計画の策定・資金計画、詳細設計監理、施工監理、維持管理等の実施管理能力のさらなる技術向上を目的とした研修を中心とする「カブール市道路建設管理能力強化プロジェクト」（以下、本プロジェクト）としてカブール市から要請されたものである。

今回実施する詳細計画策定調査では、本プロジェクトの実施に向けて、要請背景・内容の確認、関連情報の収集を行ったうえで、プロジェクトの実施体制、実施内容等についてカブール市と協議、合意し、その内容を協議議事録（M/M）として取りまとめ署名・交換するとともに、事前評価を行うことを目的とする。なお、本プロジェクトの実施に当たっては、第三国や本邦における遠隔管理の実施体制が求められていることにも十分留意しながら、プロジェクトの実施方針を検討するものとする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に基づく、事前評価に必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。また、本業務従事者は、必要に応じ他の業務従事者からの協力を得つつ、カブール市職員に対してワークショップを行い、プロジェクトの方向性を検討する。なお、JICA 事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

なお、アフガニスタンの不安定な治安状況を鑑み、本詳細計画策定調査は、第三国（10. 特記事項(1)参照）にて C/P 等アフガニスタン政府関係者を招聘して実施するものとする。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### （1）国内準備期間（2016年2月下旬～3月上旬）

- ① 要請背景・内容を要請書、関連報告書等から把握する。
- ② 担当分野に係る関連既存資料・情報をレビューする。
- ③ 担当分野に係る我が国及び他ドナーの協力状況・成果をレビューする。
- ④ 担当分野に関する調査計画・方針案を検討する。
- ⑤ プロジェクトの PDM（Project Design Matrix）（案）（英文）、PO（Plan of Operation）（案）（英文）及び事業事前評価表（案）（和文）の担当分野に関する部分を作成する。
- ⑥ プロジェクトの担当分野について、現地調査で収集すべき情報を検討し、関係機関に対する質問票（英文）を作成する。
- ⑦ 現地で実施するワークショップの準備を行う。
- ⑧ 対処方針会議や現地との事前 TV 会議等に参加する。
- ⑨ JICA アフガニスタン事務所を通じて、質問票をアフガニスタン側関係機関等に事前に配布する。

※第三国での現地調査かつ時間が限られていることから、現地調査で確認する以下（2）③の項目についても、可能な限り国内準備期間中に着手し、メールや TV 会議等を通じて先方機関から情報収集する。

### （2）現地派遣期間（2016年3月上旬～3月中旬）

- ① JICA 事務所等との打ち合わせに参加する。
- ② アフガニスタン側関係機関等に事前に配布した質問票を回収・分析するとともに、以下の情報・資料を収集し、各プロジェクトの現状を把握する。
  - ア) アフガニスタンの開発計画（上位計画）と本プロジェクトとの関連性
  - イ) カブール市の道路分野における開発動向

ウ) カブール市の道路維持管理実施体制（組織・予算・他機関との連携）  
エ) 道路維持管理分野における他ドナーや国際機関の協力実績及び今後の予定

オ) 我が国のカブール市の道路分野における協力の効果発現状況

- ③ カブール市職員に対して問題分析のワークショップ等を行い、プロジェクトの方向性を検討する。
- ④ プロジェクトの基本計画を検討し、PDM 案、PO 案（いずれも英文）の作成に協力する。
- ⑤ アフガニスタン関係者との協議で合意された内容について各プロジェクトの R/D（案）及び M/M（案）（いずれも英文）の取りまとめに協力する。
- ⑥ 評価 5 項目の観点からプロジェクトを分析し、各プロジェクトの事業事前評価表（案）の作成に協力する。

### (3) 帰国後整理期間（2016 年 3 月下旬～4 月上旬）

- ① プロジェクトの事業事前評価表（案）の取りまとめを行う。
- ② プロジェクトの PDM 案、PO 案、R/D 案の取りまとめに協力する。
- ③ 帰国報告会、団内打ち合わせに出席し、担当部に係る調査結果を報告する。
- ④ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）を作成する。

## 8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- (1) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）
  - (2) 事業事前評価表（案）（和文・英文）
- 電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICA コンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積りに計上してください）。  
航空便経路：成田ーデリーー直行

## 10. 特記事項

### (1) 業務日程／執務環境

#### ① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間の詳細は今後調整されますが、2016年3月上旬～2016年3月中旬を予定しています。なお、現地調査は治安の関係上、アフガニスタンではなく第三国（インド・デリーを予定）で実施予定です。

#### ② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成（予定）は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画 1（JICA）

- ウ) 協力企画 2 (JICA)
- エ) 道路維持管理 (コンサルタント・別途公示)
- オ) 道路建設管理 (コンサルタント・別途公示)
- カ) 評価分析 (コンサルタント・本公示)

③便宜供与内容

当機構による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供 (機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)

エ) 通訳備上

なし (必要に応じ、事務所のナショナルスタッフが対応)

オ) 現地日程のアレンジ

あり

カ) 執務スペースの提供

なし

(2) 参考資料

- ①本プロジェクトの要請書を当機構南アジア部南アジア二課(TEL:03-5226-8646)にて配布します。
- ②本に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。
  - ・「カブール首都圏開発計画調査最終報告書 和文要約」  
[http://open\\_jicareport.jica.go.jp/pdf/11965118\\_01.pdf](http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/11965118_01.pdf)
  - ・「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト 終了時評価調査報告書」  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/12233748.pdf>
  - ・「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト 既存カブール市道路整備サブプロジェクト業務完了報告書」  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000020907.html>

(3) その他

- ①業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②インド国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAインド事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ③「JICA不正腐敗防止ガイダンス (2014年11月)」の趣旨を念頭に本業務を実施ください。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談下さい。

以上